PREMIUM WATER HOLDINGS

2025年３月期決算説明会資料

株式会社プレミアムウォーターホールディングス

東証スタンダード：2588

2025年5月20日（火）

目次

2025年３月期決算ハイライト
2025年３月期業績
株主還元
市場動向及び2025年3月期通期結果
2026年３月期通期業績予想と今後の戦略
Appendix

Copyright (c) Premium Water Holdings. All rights reserved.

PREMIUM WATER HOLDINGS

2025年３月期
決算ハイライト

Copyright (c) Premium Water Holdings. All rights reserved.

PREMIUM WATER HOLDINGS

1 営業利益において**過去最高益を達成**

2 保有顧客数は**173万件突破** ※前期末比**11万件増**

Copyright (c) Premium Water Holdings. All rights reserved.

PREMIUM WATER HOLDINGS

●2025年3月期 通期実績

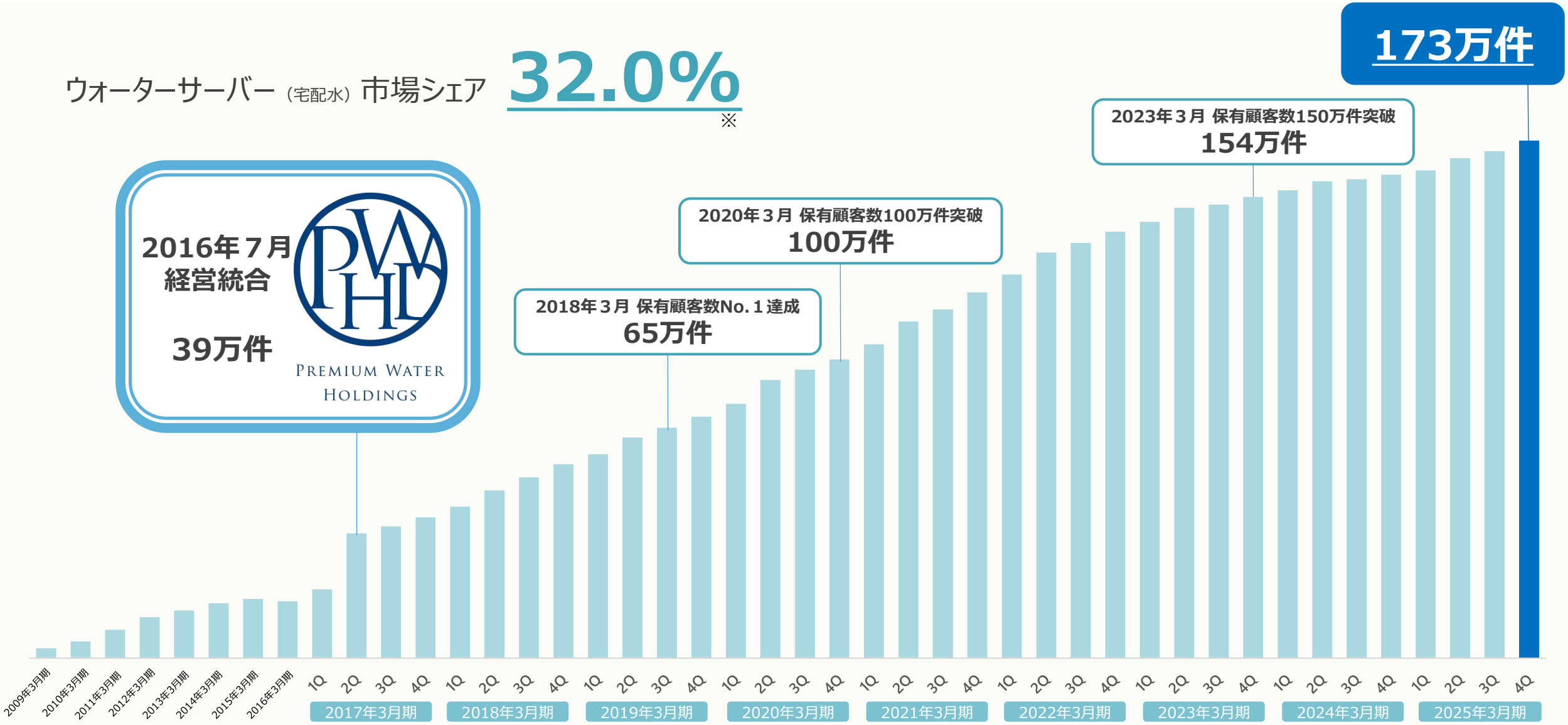
売上収益	76,895 百万円
営業利益	11,482 百万円
親会社の所有者に帰属する当期利益	5,631 百万円
EBITDA	23,907 百万円

Copyright (c) Premium Water Holdings. All rights reserved.

業績ハイライト －保有顧客数－

PREMIUM WATER HOLDINGS

ウォーターサーバー（宅配水）市場シェア **32.0%** ※



※ 2025年3月末時点の当社宅配水サービス顧客数 ÷日本宅配水＆サーバー協会（JDSA）の統計数字に基づく 宅配水市場2025年3月末時点の宅配水予想顧客数

Copyright (c) Premium Water Holdings. All rights reserved.

PREMIUM WATER HOLDINGS

2025年３月期
通期業績

Copyright (c) Premium Water Holdings. All rights reserved.

連結損益計算書 －2025年３月期通期（前年比較）－

PREMIUM WATER HOLDINGS

売上収益は、前期に株式譲渡を行った営業子会社のモバイル事業がなくなったため減少。

営業利益は、前年比で約1.2倍に増加。

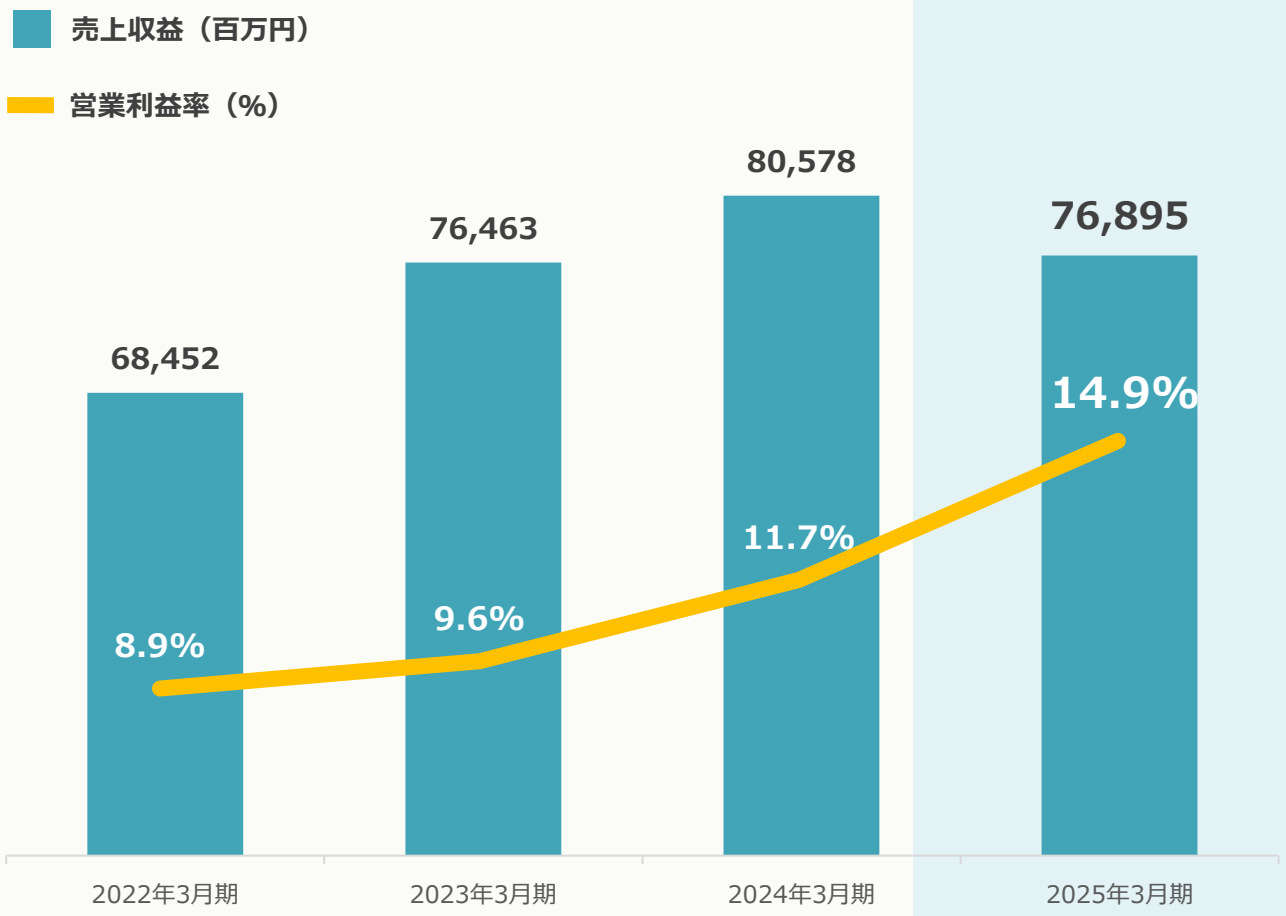
（百万円）

	2024年３月期通期		2025年３月期通期			
	実績	百分比	実績	百分比	前年増減額	前年比
売上収益	80,578	100.0%	76,895	100.0%	△3,682	95.4%
売上総利益	66,868	83.0%	65,296	84.9%	△1,571	97.6%
営業利益	9,436	11.7%	**11,482**	**14.9%**	**2,046**	**121.7%**
税引前当期利益	8,028	10.0%	9,086	11.8%	1,058	113.2%
親会社の所有者に帰属する当期利益	5,777	7.2%	5,631	7.3%	△146	97.5%
１株あたり当期利益（円）	195.21	－	189.40	－	△5.81	97.0%
EBITDA	20,230	－	23,907	－	3,676	118.2%

Copyright (c) Premium Water Holdings. All rights reserved.

売上収益の推移

2024年3月期と比較して、売上収益は前期に売却したモバイル事業分の減少があるが、ウォーターサーバー事業については堅調に推移。



モバイル事業売上

2024年３月期に行った
エフエルシープレミアム(株)の
売却に伴い、
年間約44億円※の売上収益が減少。

※2023年3月期モバイル事業売上実績

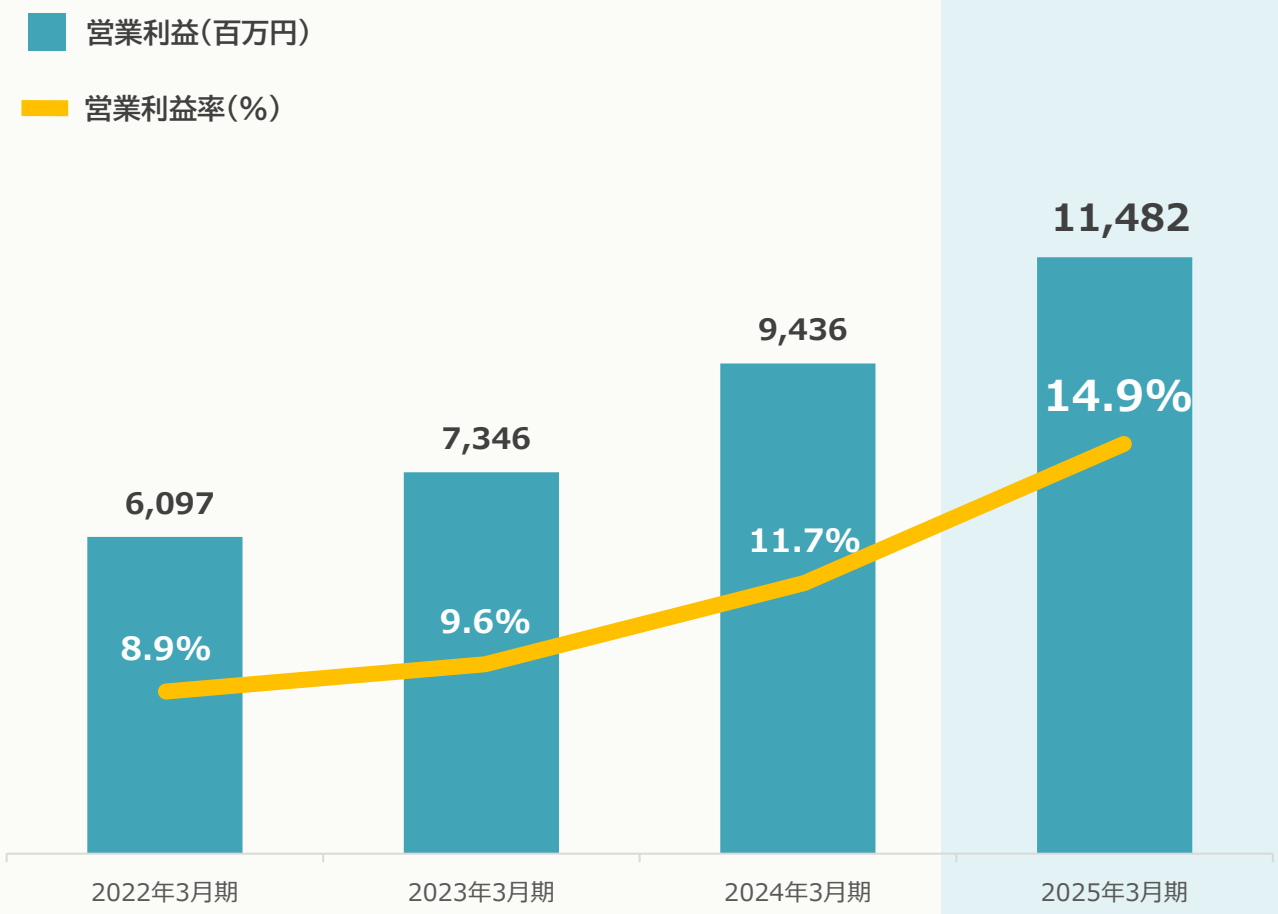
浄水型比率

全体保有顧客に対する割合は、
約13%。
月額費用は天然水の通常契約と
比較して、約７割程度。

Copyright (c) Premium Water Holdings. All rights reserved.

PREMIUM WATER HOLDINGS

営業利益は順調に推移。営業利益率は前年から3.2%ポイント上昇。



天然水の出荷数増加

台風や豪雨、巨大地震をはじめとする災害への対策として天然水をローリングストックする方が増加し、結果的に天然水の出荷が増加。

自社工場水出荷量前期比約128%

北方工場本格稼働 & 自社物流網

2024年４月に本格稼働した岐阜北方工場では、稼働率を向上させ製造コストを**前期比約10%削減**。自社物流網も**51.3%**と効率的な水準を維持し、物流コストの上昇抑制に成功。

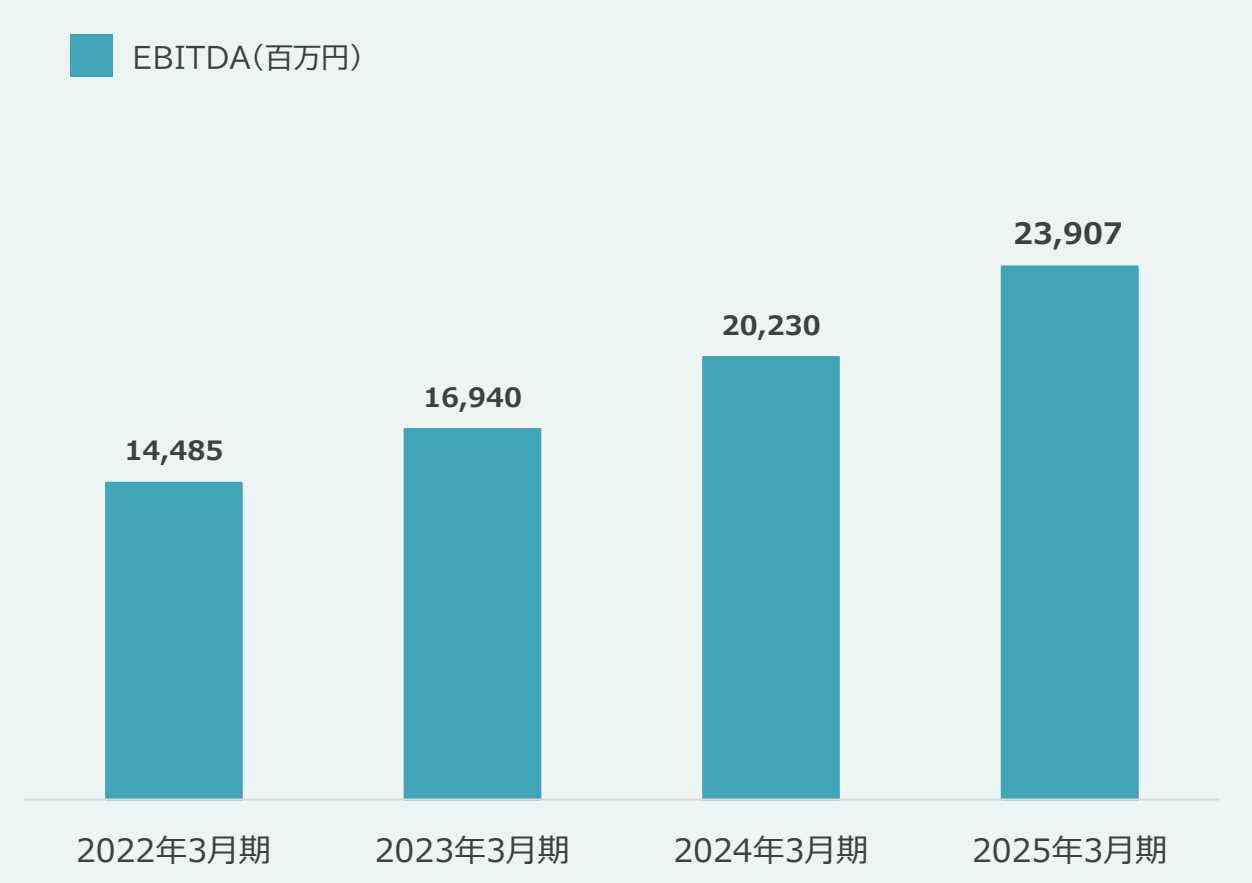
顧客獲得コスト改善

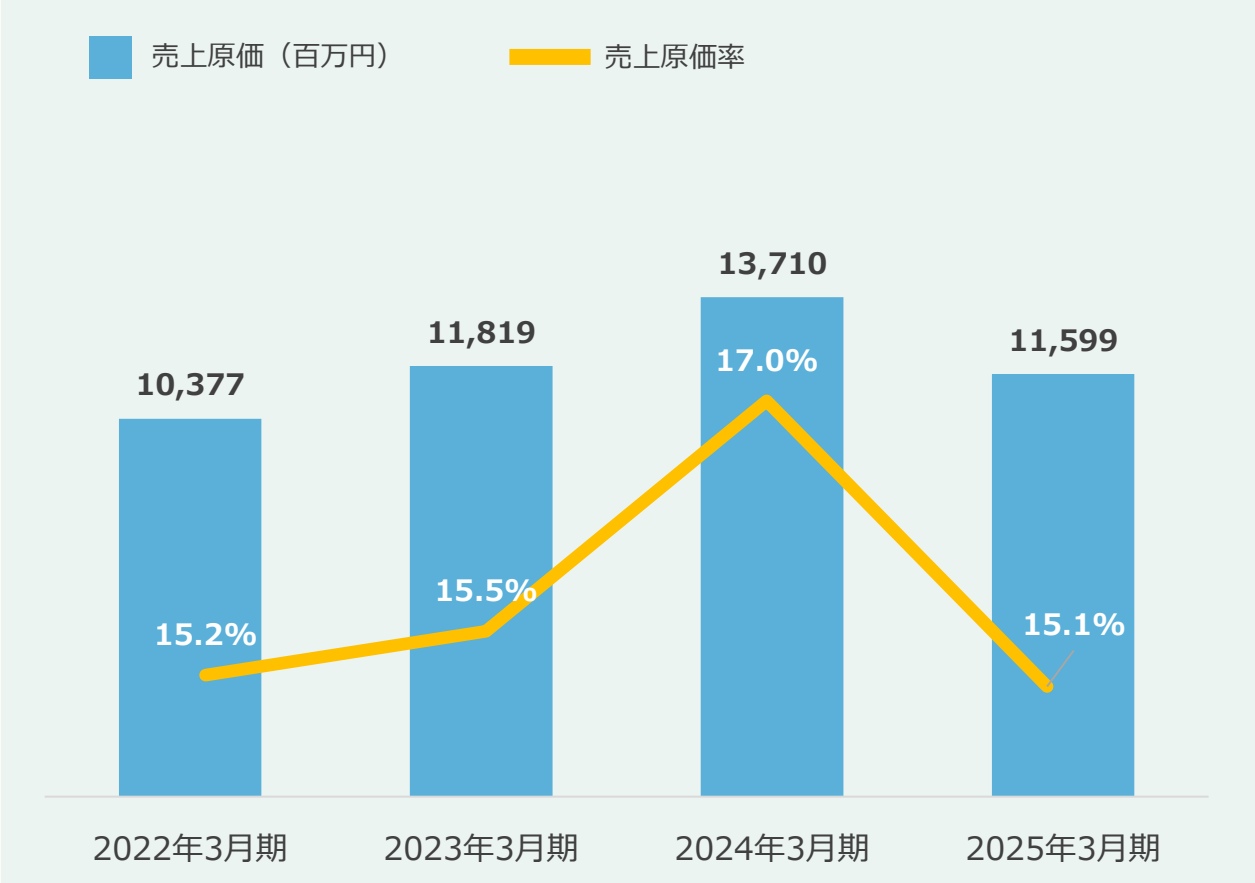
営業組織の体制を見直し、生産性を上げたことにより、一件あたりの顧客獲得コストが改善し、営業利益の増加に寄与。

Copyright (c) Premium Water Holdings. All rights reserved.

PREMIUM WATER HOLDINGS

前年同期と比較し、EBITDAは上昇傾向、売上原価率は改善傾向。





Copyright (c) Premium Water Holdings. All rights reserved.

連結貸借対照表 －2025年３月期通期（前期比較）－

PREMIUM WATER HOLDINGS

（百万円）

	2024年３月期 通期		2025年３月期通期			
	実績	百分比	実績	百分比	前期末比増減額	前期比
流動資産	44,801	45.1%	47,324	42.2%	2,523	105.6%
非流動資産	54,605	54.9%	64,751	57.8%	10,146	118.6%
資産合計	99,406	100.0%	**112,076**	100.0%	12,670	112.7%
流動負債	28,256	28.4%	43,076	38.4%	14,819	152.4%
非流動負債	48,379	48.7%	43,927	39.2%	△4,452	90.8%
（有利子負債）	59,494	59.8%	67,770	60.5%	8,276	113.9%
負債合計	76,636	77.1%	**87,003**	77.6%	10,366	113.5%
資本合計	22,770	22.9%	**25,073**	22.4%	2,303	110.1%
負債及び資本合計	99,406	100.0%	**112,076**	100.0%	12,670	112.7%
親会社所有者帰属持分比率	22.9%	－	**22.4%**	－	－	－
流動比率	158.5%	－	109.9%	－	－	－

Copyright (c) Premium Water Holdings. All rights reserved.

連結キャッシュ・フロー計算書 －2025年３月期通期（前年比較）－

PREMIUM WATER HOLDINGS

（百万円）

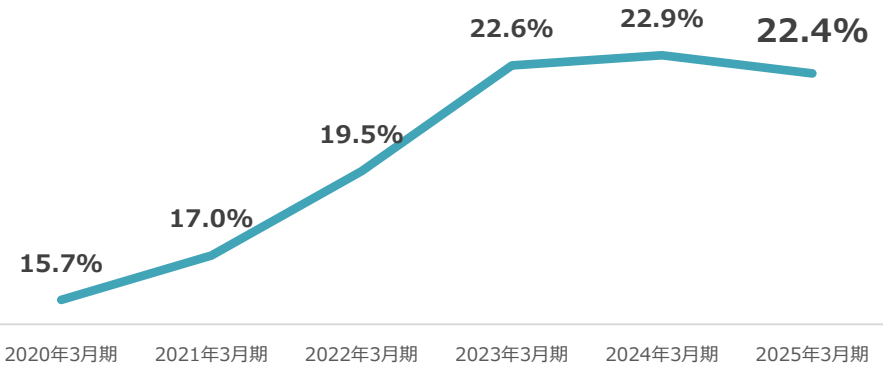
	2024年３月期通期	2025年３月期通期	
	実績	実績	主な内訳
営業活動による キャッシュ・フロー	19,669	20,659	税引前当期利益　9,086百万円 減価償却費及び償却費　12,424百万円 契約コストの増減額（△は増加）　△2,633百万円 法人所得税の支払額　△2,072百万円
投資活動による キャッシュ・フロー	△5,001	△12,774	有形固定資産及び無形資産の取得による支出　△6,384百万円 投資有価証券の取得による支出　△5,841百万円
フリー・キャッシュ・フロー	14,668	7,885	
財務活動による キャッシュ・フロー	△9,882	△6,541	長期有利子負債の収入　9,578百万円 長期有利子負債の支出　△13,000百万円 配当金の支払額　△2,677百万円
現金及び現金同等物の 期末残高	30,561	31,900	

Copyright (c) Premium Water Holdings. All rights reserved.

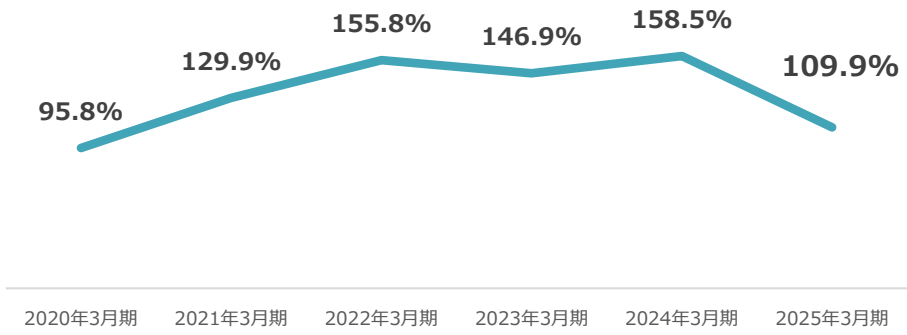
PREMIUM WATER HOLDINGS

自己資本比率は目標の30%に向けて順調に推移。流動比率の低下は、１年以内償還予定の社債の増額が影響。

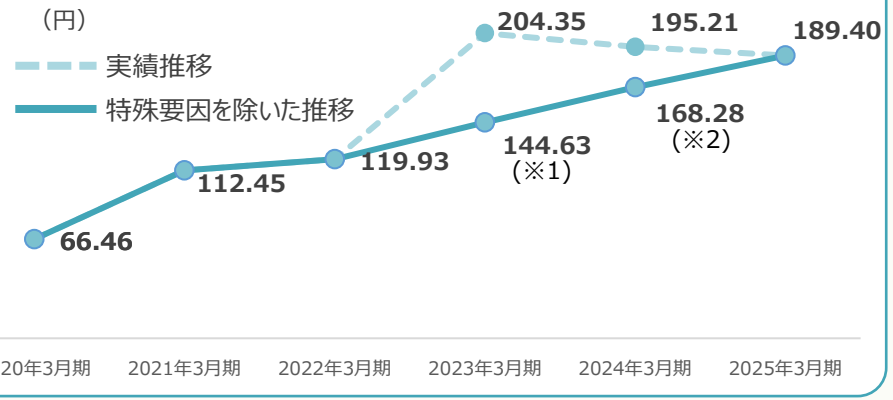
自己資本比率（親会社所有者帰属持分比率）



流動比率※3



基本的1株当たり当期利益（EPS）



ROE 23.6%（2025年3月末）

※1 2023年３月期において、当期利益は6,057百万円でしたが、特殊要因として繰延税金資産の計上分1,753百万円を含んでおりますので、その特殊要因を除いた当期利益は4,304百万円でした。

※2 2024年３月期において、当期利益は5,777百万円でしたが、特殊要因として子会社譲渡の売却益797百万円を含んでおりますので、その特殊要因を除いた当期利益は4,980百万円でした。

※3 流動資産の流動負債に対する割合

Copyright (c) Premium Water Holdings. All rights reserved.

PREMIUM WATER HOLDINGS

株主還元

Copyright (c) Premium Water Holdings. All rights reserved.

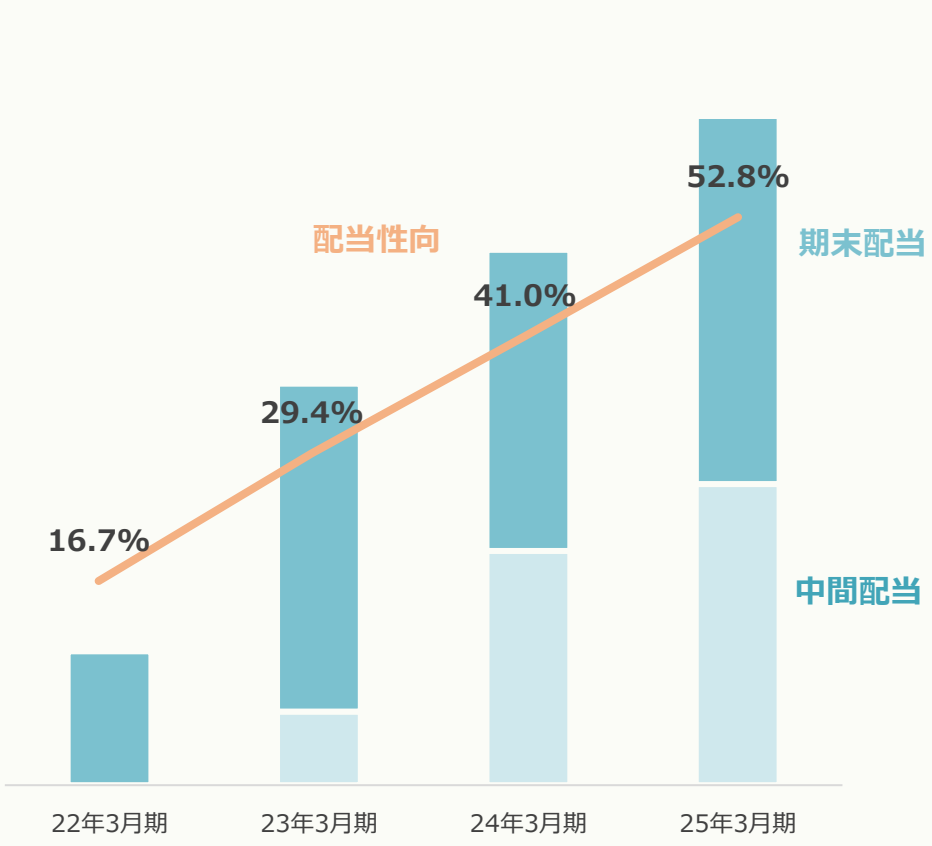
株主還元

2025年３月期の期末配当は予想50円から５円増額の55円に決定。

また2025年５月以降、上限５億円の自社株買いを実施中。

今後も内部留保や設備投資への成長投資とのバランスを考慮しながら安定的な増配を継続する方針。

	2023年３月期	2024年３月期	2025年３月期
中　間　配　当 （基準日：9月末日）	11.00	35.00	**45.00**
期　末　配　当 （基準日：3月末日）	49.00	45.00	**55.00**
合　　計	60.00	80.00	**100.00**

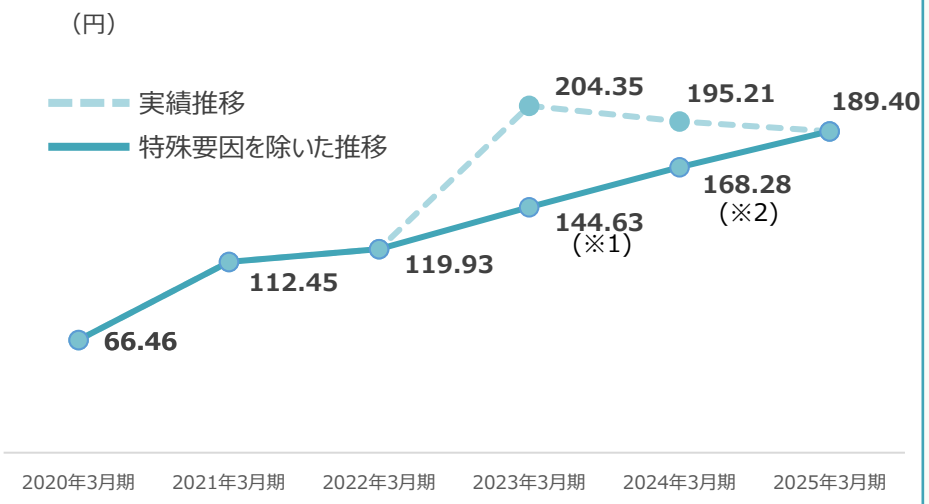


Copyright (c) Premium Water Holdings. All rights reserved.

PREMIUM WATER HOLDINGS

当社PBRは３倍以上で国内では高水準、PERについてもスタンダード市場では高水準となる。
引き続き当社株式の価値を高め、株主還元を強化していく方針。

基本的1株当たり当期利益（EPS）



※1 2023年3月期において、当期利益は6,057百万円でしたが、
特殊要因として繰延税金資産の計上分1,753百万円を含んでおりますので、
その特殊要因を除いた当期利益は4,304百万円でした。

※2 2024年3月期において、当期利益は5,777百万円でしたが、
特殊要因として子会社譲渡の売却益797百万円を含んでおりますので、
その特殊要因を除いた当期利益は4,980百万円でした。

PER

15.03倍

プライム市場平均と
同程度
安定的に利益を創出

※2025年3月末時点

※プライム市場平均：19.8倍
スタンダード市場平均：14.6倍
（東証発表 2025年3月末時点）

PBR

3.39倍

日本国内では高水準

※2025年3月末時点

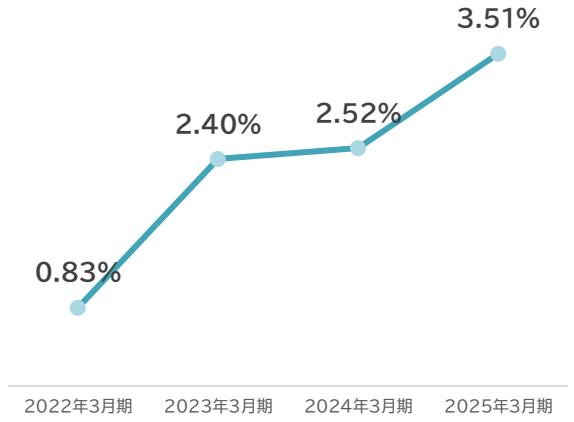
※プライム市場平均：1.6倍
スタンダード市場平均：0.9倍
（東証発表 2025年3月末時点）

配当利回り

3.51%

※2025年3月末時点

※有配会社平均利回り
プライム市場：2.42%
スタンダード市場：2.62%
（東証発表 2025年3月末時点）



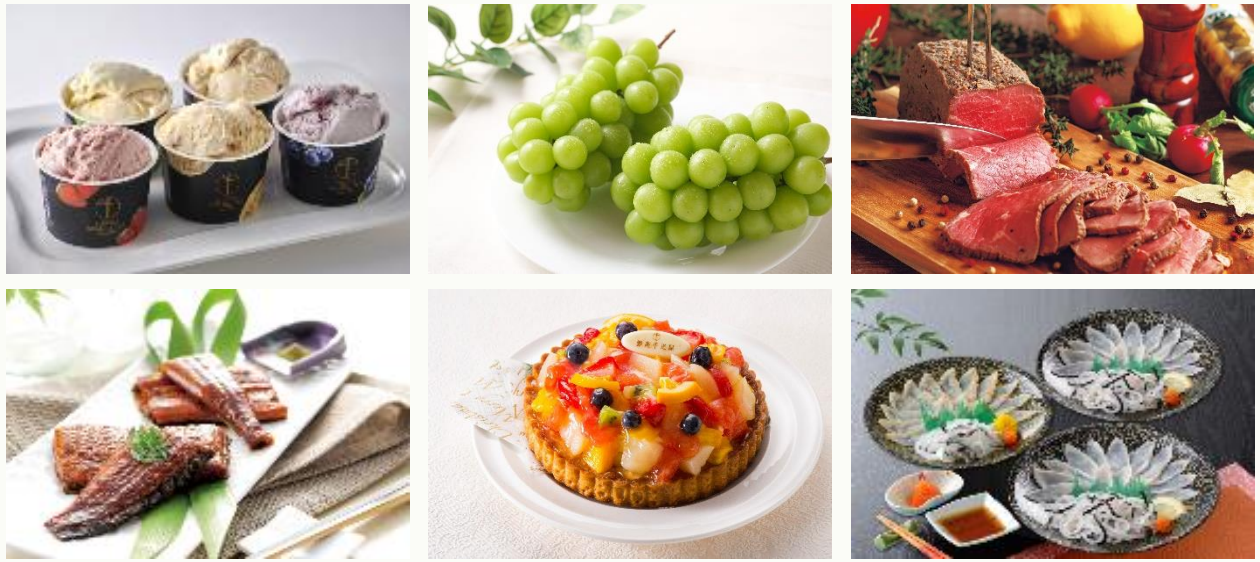
Copyright (c) Premium Water Holdings. All rights reserved.

PREMIUM WATER HOLDINGS

2025年３月期は、当社株式を100株以上保有の株主様へ5,000円相当のカタログギフトをお届け。

また、当社の天然水をご契約の株主様には、さらに天然水１セットを無料でお届け。

【優待品①】
5,000円相当のカタログギフト



カタログギフトの品数を20品に拡充！

【優待品②】
天然水１セット（２本）

宅配水サービスご契約者様限定

ナチュラルミネラルウォーター
１セット(２本)プレゼント

Copyright (c) Premium Water Holdings. All rights reserved.

PREMIUM WATER HOLDINGS

市場動向
及び
2025年3月期通期結果

Copyright (c) Premium Water Holdings. All rights reserved.

PREMIUM WATER HOLDINGS

展開可能な潜在的市場は ５兆円規模。

ウォーターサーバー市場

2,193億円 ※1

«内訳»

宅配水	1,792億円
給水型	354億円
水道直結型	47億円

浄水器市場

512億円 ※1

ミネラルウォーター市場

4,664億円 ※2

清涼飲料市場

5兆5,506億円 ※2

炭酸飲料

6,429億円 ※2

無糖茶飲料
（日本茶・麦茶 等）

9,092億円 ※2

コーヒー飲料

8,167億円 ※2

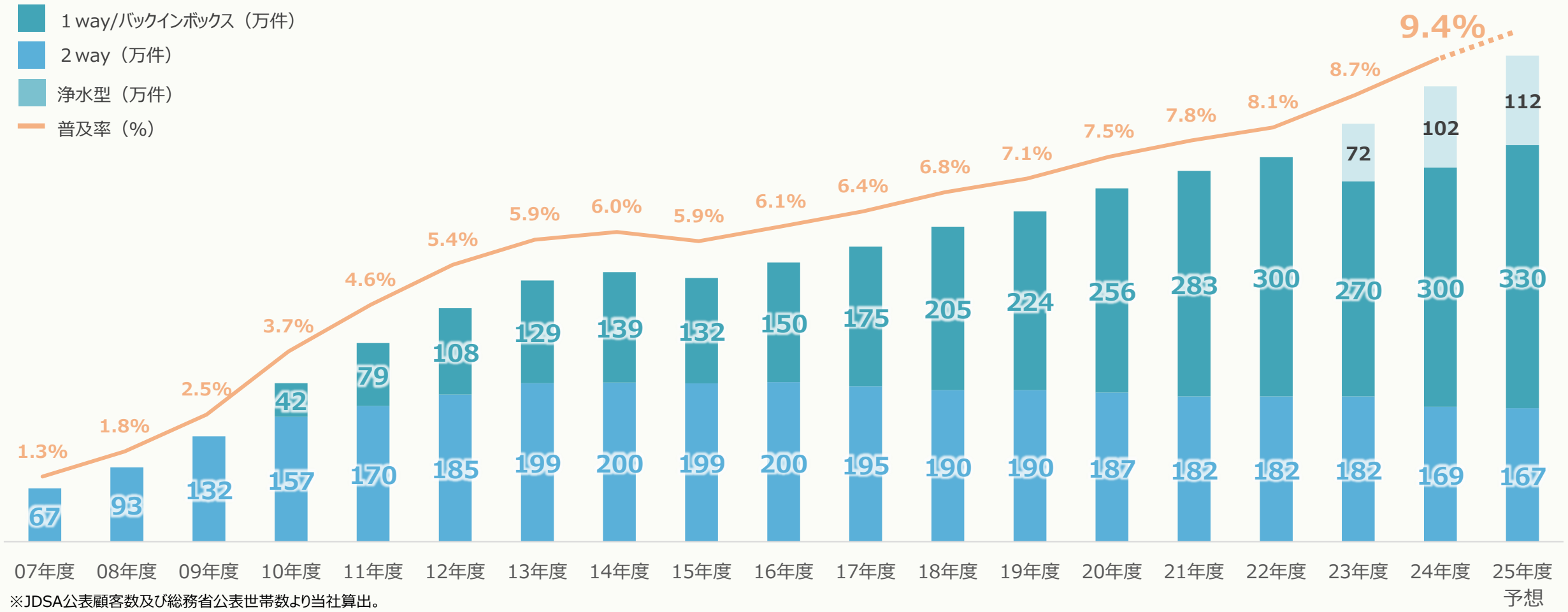
※１ 矢野経済研究所調べ（2024年度見込み）
※２ 富士経済調べ（2024年見込み）

Copyright (c) Premium Water Holdings. All rights reserved.

国内のウォーターサーバー市場 －世帯普及率の推移－

PREMIUM WATER HOLDINGS

世帯普及率は、9.4%(※)程度と、国内には拡大の余地がある。



※JDSA公表顧客数及び総務省公表世帯数より当社算出。
日本宅配水＆サーバー協会（JDSA）の統計数字 宅配水市場顧客数（571万件） ÷ 総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数（6,077万 9,141世帯）」

Copyright (c) Premium Water Holdings. All rights reserved.

ウォーターサーバー業界地図

PREMIUM WATER HOLDINGS

ウォーターサーバー業界で顧客数を開示している企業において、当社が最も多くの顧客数を保有。

2024年５月にはビックカメラグループの事業継承も行い、顧客数がさらに増加。

ガス会社系

連結子会社 岩谷産業

- 富士の湧水 10万件
  - 「富士の湧水」 1way
- TOKAI 14万件
  - 「うるのん」 1way
  - 「おいしい水の宅配便」 2way
- トーエル 25万件
  - 「ハワイウォーター」 1way 2way
  - 「アルピナ」 1way 2way
- エアウォーター
  - 「AW・ウォーター 北アルプスの天然水」 1way
  - 「AW・ウォーター」 2way
- 大丸エナウィン
  - 「エフィールウォーター」 1way 2way
  - 「スーパーバナジウム 富士ミネラル天然水」 1way 2way
- アクアクララ 48万件
  - 「アクアクララ」 2way
  - 「ハピットアクア」 浄水

グループ会社 レモンガス

レンタル・クリーン・オフィスサービス系

- ナック 43万件 ※宅配水のみの件数
  - 「クリクラ」 2way
  - 「feel free」 浄水
- ダイオーズ 20万件 ※顧客数はクリーンサービス等を含む
  - 「ピュアウォーター」 2way
- サニクリーン
  - 「ディスティオ」 2way
  - 「サニクリーンの天然水」 1way

飲料メーカー

- サントリービバレッジソリューション
  - 「サントリー天然水＜南アルプス＞」 1way

水宅配事業

- プレミアムウォーターホールディングス **173万件** ※2025年3月末時点
  - 「プレミアムウォーター」 1way
  - 「Locca」 浄水
- いずみや「スイークレイ」 2way
- マーキュロップ 2way
  - 「マーキュロップ 富士山の天然水」
- 富士山の銘水 100万件
  - 「フレシャス」 1way
  - 「エブリィフレシャス」 浄水
- コスモライフ 50万件
  - 「コスモウォーター」 1way
  - 「ハミングウォーター」 浄水

連結子会社 OSGコーポレーション

- ウォーターネット
  - 「ウォーターネット」 2way

2024年５月 当社へ 事業継承

異業種・新規参入・その他

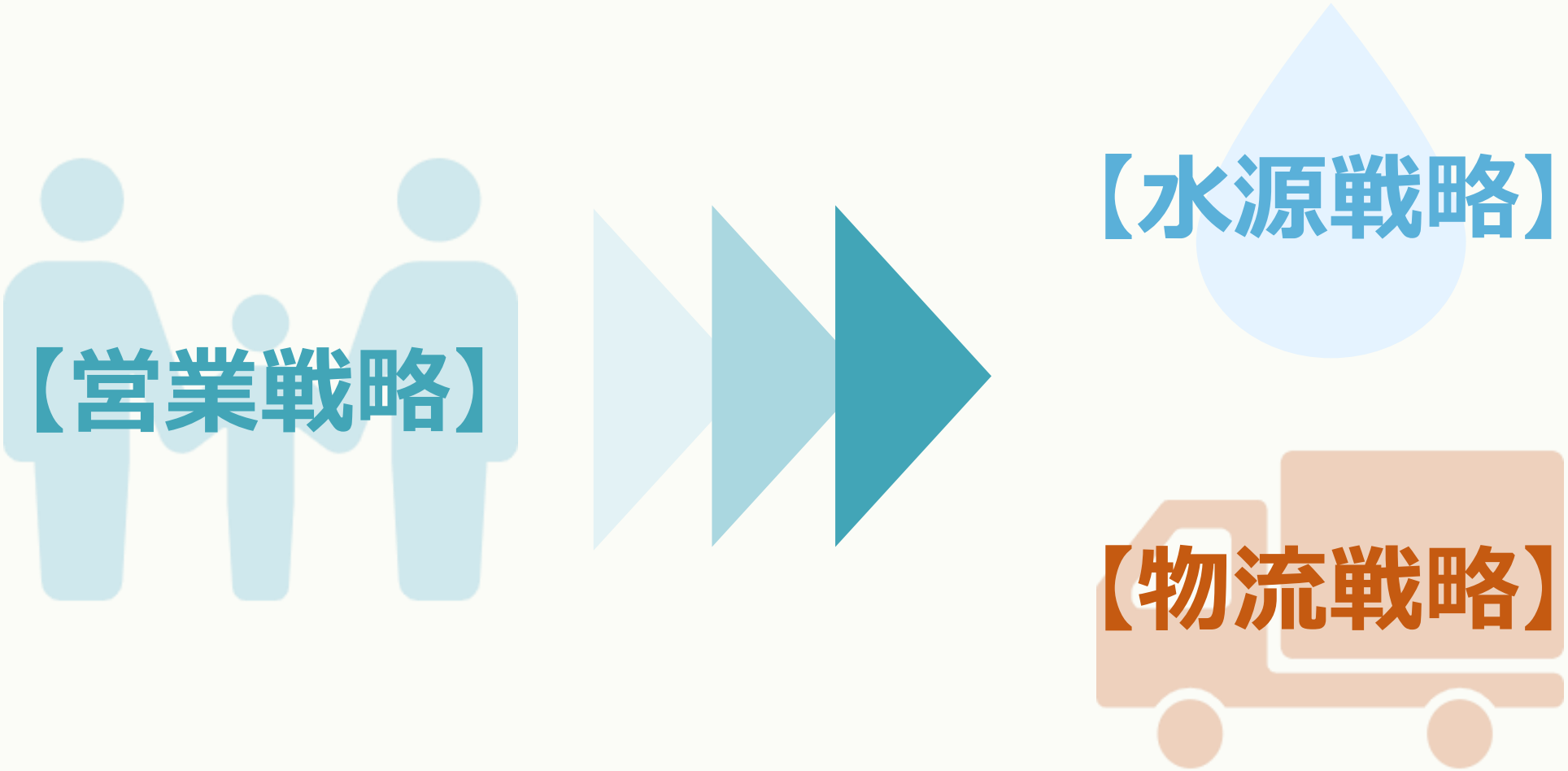
- ビックライフソリューション（ビックカメラグループ）
  - 「puhha」 1way 「TAPURI」 浄水
- 中京医薬品
  - 「アクアマジック」 1way 2way
- Kirala
  - 「Kirala Water」 1way
  - 「Kirala Fresh Server」 浄水
- サンエス
  - 「サンミネラル」 1way 2way
- 富士開発観光
  - 「ふじざくら命水」 1way
- ジャパネットウォーター 16万件
  - 「ジャパネットウォーター 富士山の天然水」 1way

※日本流通産業新聞2025年１月9日号より当社作成

Copyright (c) Premium Water Holdings. All rights reserved.

PREMIUM WATER HOLDINGS

当社は、営業・水源・物流の３つの戦略で、利益を追求。



Copyright (c) Premium Water Holdings. All rights reserved.

PREMIUM WATER HOLDINGS

獲得コストを意識しながら
保有顧客数を**純増**させ続ける

新規獲得

＋

既存顧客の顧客満足度追求

＝

保有顧客数の純増

Copyright (c) Premium Water Holdings. All rights reserved.

PREMIUM WATER HOLDINGS

新規獲得

直販の生産性強化

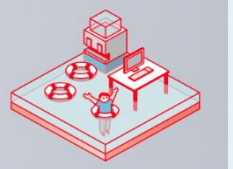
直販と代販を合わせ
約1,400名の営業員が
全国各地で毎日稼働

強い販路をもつ企業と連携強化や他社との新しい取組み

LASTONEMILE
東証グロース　証券コード：9252

INEST
東証スタンダード　証券コード：7111

puhha
TAPURI



KABU& ウォーター

長期契約プラン※の顧客増加

※１年からスタートした契約期間を現在は５年に変更。
将来的な解約率の低下に繋がる。

Copyright (c) Premium Water Holdings. All rights reserved.

PREMIUM WATER HOLDINGS

新規獲得

新規獲得数 前期対比 約**110%**

【5年プランの契約状況】

	2024年3月期	2025年3月期	
新規契約割合	44%	**83%**	前期比 **＋39ポイント**
保有顧客割合	15%	**34%**	前期比 **＋19ポイント**

✓ 直販及び他社との連携強化の結果、**新規獲得件数増加**特に**長期プランでの獲得増加**

Copyright (c) Premium Water Holdings. All rights reserved.

PREMIUM WATER HOLDINGS

既存顧客の顧客満足度追求

顧客ニーズに合わせた商品の研究・開発

ユーザビリティの向上

パソコン、
スマートフォンで
利用可能な

・マイページ
・専用アプリ
・LINEアカウント
・会員限定通販サイト
「プレミアムモール」

ペットボトル軽量化による環境に配慮した製品

Copyright (c) Premium Water Holdings. All rights reserved.

PREMIUM WATER HOLDINGS

既存顧客の顧客満足度追求

2024年から現在までに発表した新サーバー

天然水

2024年9月　2025年4月

浄水型

2024年3月　2024年9月　2025年1月

ボトルの軽量化

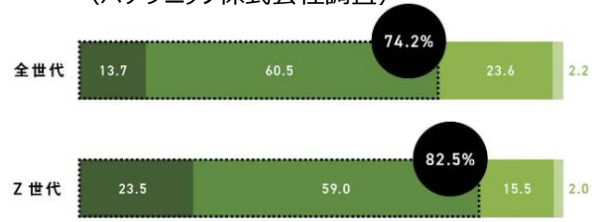
天然水ボトル　プラスチック使用量

2010年　**145g/本**

23%減

2024年　**112g/本**

※参考：**環境や社会に配慮した製品・サービスの購入意向**
（パナソニック株式会社調査）



環境にやさしい商品を使用したいユーザー
全世代　70%以上

Copyright (c) Premium Water Holdings. All rights reserved.

PREMIUM WATER HOLDINGS

新規獲得数

前期比

約110%

（2025年3月期は全体の83%が5年契約）

解約率の改善

前期比

0.23ポイントの改善

※単月平均解約率の(%)から算出

顧客数の純増

154万件
2023年3月末

7万件プラス

162万件
2024年3月末

11万件プラス

173万件
2025年3月末

純増数
前期比
157%

Copyright (c) Premium Water Holdings. All rights reserved.

PREMIUM WATER HOLDINGS

2024年4月にアメリカがPFAS（PFOS・PFOA）に厳しい規制値を導入したことで、NHKを中心としたメディアでの情報発信が増え、水道水調査結果への不安・不信から水の安全性を求める方が増加。

PFOS・PFOAとは

「有機フッ素化合物 （ PFAS ） 」の一種。

- **PFOS**（ピーフォス） ペルフルオロオクタンスルホン酸 (Perfluorooctane sulfonic acid)
  主な用途 メッキ処理剤、泡（あわ）消火薬剤 など
- **PFOA**（ピーフォア） ペルフルオロオクタン酸 (Perfluorooctanoic acid)
  主な用途 撥水剤（はっすいざい）、界面活性剤 など

※環境省では、2020年に水道水や環境中の水の目標値を定め、飲み水からの摂取を防ぐ取組を進めている 。
2024年6月には、食品安全委員会が健康影響について包括的に評価を行い、その結果を公表している。

引用：https://www.env.go.jp/content/000241758.pdf

PFASの製造や水質に関する規制の経緯

年	出来事
2000年ごろ	米化学メーカーなどが一部のPFASを製造停止し代替物質に切り替え
10年	日本でPFOSの製造などが規制
16年1月	沖縄県が一部の浄水場の水源でPFASが検出されたことを公表
20年	国が水道水についてPFOSとPFOAの合計の暫定目標値を設定
20～23年度	水質検査で、一時的に暫定目標値を超える地点が複数見つかる
23年10月	岡山県吉備中央町の浄水場で暫定目標値を超えるPFASが検出されたことが公表
25年1月	同町の住民の血液検査結果が公表

引用：日経新聞

日本経済新聞
ミネラルウオーターのPFAS基準設定へ議論、消費者庁
発がん性が指摘される有機フッ素化合物（PFAS）について、消費者庁の部会は10日、ミネラルウオーターに含まれる基準値の設定を議論する第1回会合を開い…
2025/02/10

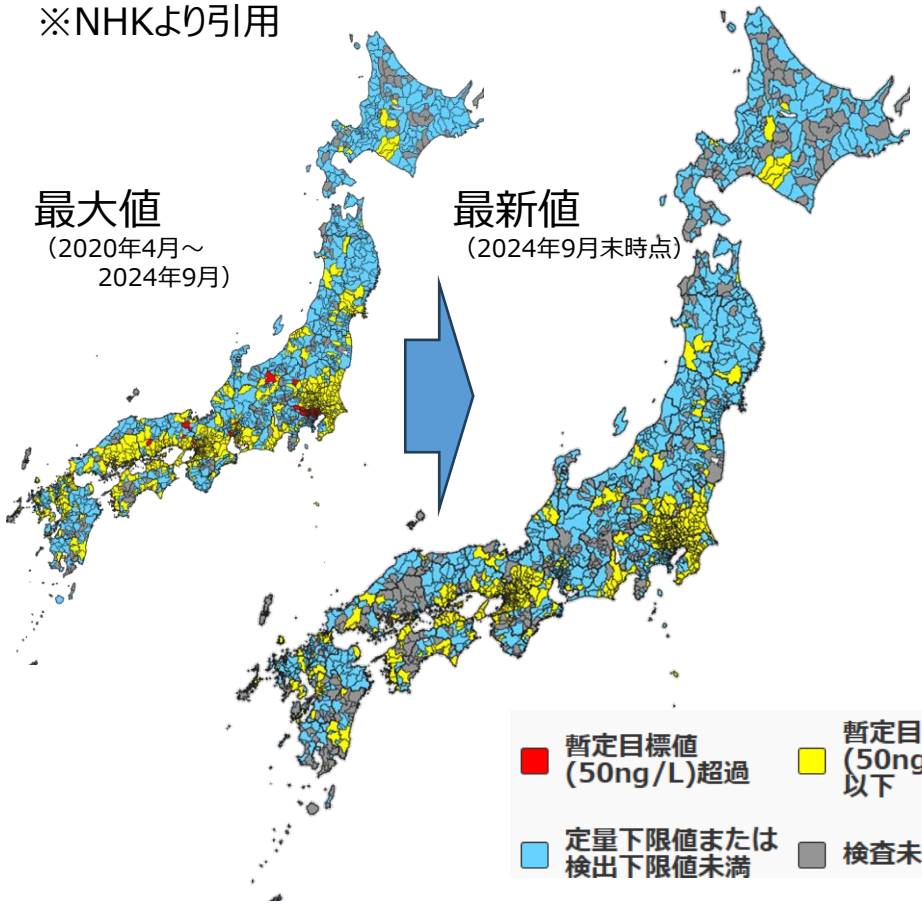
日本経済新聞
石破茂首相、来春めどにPFAS対策 「リスク低減重要」
石破茂首相は3日の参院本会議で、健康への悪影響が指摘される有機フッ素化合物「PFAS」の対策について、水道事業者への検査・公表義務付けなどの管理…
2024/12/03

日本経済新聞
米国、PFAS汚染に浄化責任 識者「日本企業に影響も」
米環境保護局（EPA）はこのほど、体への有害性が指摘される有機フッ素化合物「PFAS（ピーファス）」について、特に悪影響が大きいとされる2種類を「有害…
2024/06/06

最新
2025年4月11日 群馬県 神流町
群馬県の神流町が供給する**水道水を飲み**、14人が下痢や腹痛などの症状を訴えたことを受け、県は「カンピロバクター」による**食中毒**と断定しました。

【水道水のPFAS検出マップ】

※NHKより引用



引用：https://www3.nhk.or.jp/news/tokushu/20241201/pfasmap_water/?year=9999#4.97/37.5/137.5

Copyright (c) Premium Water Holdings. All rights reserved.

PREMIUM WATER HOLDINGS

2024年下半期では水道管の老朽化による破裂等のニュースに加え、マンションの受水槽・貯水槽の老朽化による水質汚染問題も。国民生活に深く関わる水インフラに対し不安を感じる人が増加。

▼ 水道管の老朽化

引用：https://www3.nhk.or.jp/news/
引用：https://xtech.nikkei.com/atcl/nxt/column/18/00138/112101652/
引用：https://www.sankei.com/article/20250128-55URP2LKNRMAREN4JZ3AYVJ33M/

経年劣化率は20%以上、しかし新しくされているのは1%以下。

令和３年度	厚生労働大臣認可	都道府県知事認可	全国平均
管路経年化率	23.7%	19.2%	22.1%
管路更新率	0.70%	0.52%	0.64%

図2　法定耐用年数を超えた水道管は全体の22%
法定耐用年数を超えた管路経年化率は年々上昇しており、2021年度に22.1%に達した。この比率が今後上昇するのは確実だ（出所：厚生労働省）

水道管老朽化に伴う工事費用の上乗せで、自治体で水道料金の大きな違いも。

水道事業者間の水道料金の格差は令和28年度には20.4倍に広がる可能性

令和3年度（実績値）

平均料金	最大料金	最小料金	料金格差
3317円	6966円	869円	8.0倍

28年度（推計値）

平均料金	最大料金	最小料金	料金格差
4895円	2万5837円	1266円	20.4倍

※EY Japanと水の安全保障戦略機構が3年度の水道統計に基づき推計

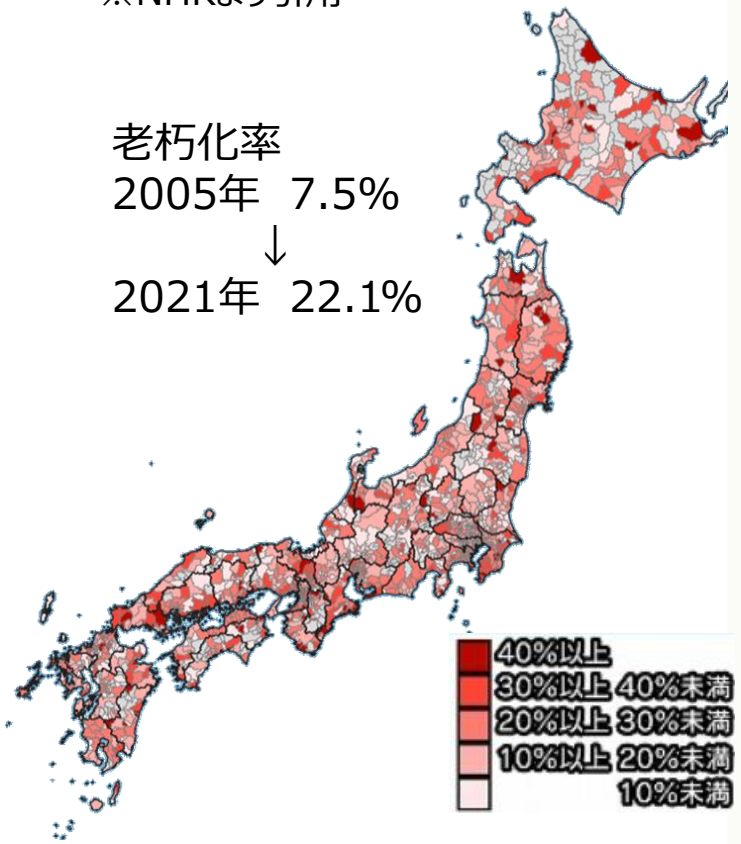
▼ 受水槽・貯水槽の老朽化

築40年以上の高経年マンションでは、給排水管による漏水をはじめとした共有部分の老朽化による問題が発生している。受水槽・貯水槽についても例外なく、漏水や資材劣化が起きており、中の水の水質汚染などによる住民の健康被害が報告されている。

引用：https://www.mlit.go.jp/policy/shingikai/content/001313642.pdf

【水道管の老朽化マップ】
※NHKより引用

老朽化率
2005年　7.5%
↓
2021年　22.1%



引用：
https://www3.nhk.or.jp/news/html/20240422/k10014426931000.html

Copyright (c) Premium Water Holdings. All rights reserved.

PREMIUM WATER HOLDINGS

2024年は、全国各地で震度5強以上の地震が12回、震度6以上が4回観測され、8月には南海トラフ地震臨時情報も発表されたことで、国民全体で防災意識の高まりが伺える。

【2024年に日本で起きた震度5強以上の地震】

発生時刻	震源地	マグニチュード	最大震度
2024年08月08日16時43分頃	日向灘　宮崎の東南東３０ｋｍ付近	M7.1	6弱
2024年06月03日06時31分頃	石川県能登地方	M6.0	5強
2024年04月17日23時14分頃	豊後水道	M6.6	6弱
2024年01月06日23時20分頃	能登半島沖	M4.3	6弱
2024年01月06日05時26分頃	石川県能登地方	M5.4	5強
2024年01月03日10時54分頃	石川県能登地方	M5.6	5強
2024年01月03日02時21分頃	石川県能登地方	M4.9	5強
2024年01月02日17時13分頃	能登半島沖	M4.6	5強
2024年01月01日16時56分頃	石川県能登地方　輪島の南南西２０ｋｍ付近	M5.7	5強
2024年01月01日16時18分頃	石川県能登地方　輪島の南南西２０ｋｍ付近	M6.1	5強
2024年01月01日16時10分頃	石川県能登地方　輪島の東北東３０ｋｍ付近	M7.6	7
2024年01月01日16時06分頃	石川県能登地方	M5.7	5強

参考：https://earthquake.tenki.jp/bousai/earthquake/entries/level-5-plus/

日本経済新聞

南海トラフ地震、30年以内発生確率「80%程度」に引き上げ

地震調査委は南海トラフ地震の今後30年以内の発生確率を「75～82%」と評価した。四捨五入した数字で評価するため「80%程度」となった。24年は「74～81%」…

日本経済新聞

南海トラフ被害292兆円 政府新想定で悪化 インフラ老朽化・減災遅れ 死者29.8万人、津波浸水は3割拡大

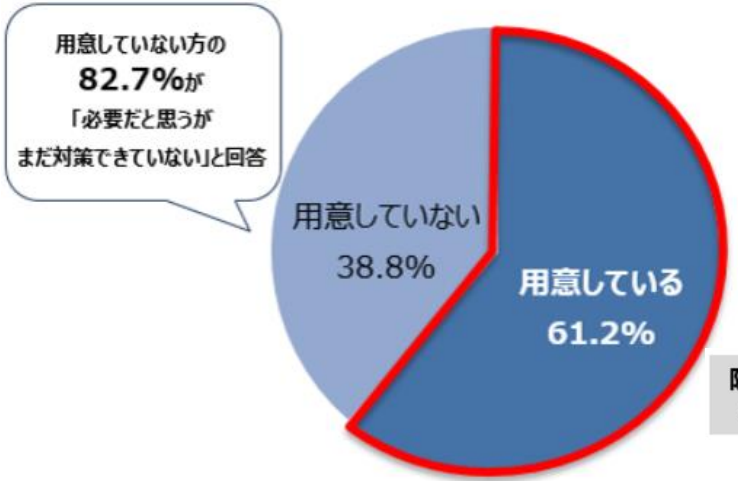
南海トラフ地震では東海～九州の沿岸域を中心に149市町村で震度7を観測し、太平洋側の広範囲で3メートル超の津波が到達する。今回の被害想定は前回より地形…

引用：日経新聞

【防災意識に関する調査結果】

※プレミアムウォーター株式会社調べ

自宅に防災グッズを用意していますか (n=6,504／SA)



防災グッズは何を用意していますか
(n=防災グッズを用意している 3,983／MA)

1	ライト・懐中電灯　92.7%
2	非常食・保存食 82.1%
3	飲料水(お水)　80.9%

引用：https://premium-water.net/information/2025/02/27/7550/

Copyright (c) Premium Water Holdings. All rights reserved.

PREMIUM WATER HOLDINGS

2026年３月期
通期業績予想
と
今後の戦略

Copyright (c) Premium Water Holdings. All rights reserved.

PREMIUM WATER HOLDINGS

天然水の新規顧客増加だけではなく、浄水型ニーズの新規顧客獲得も増加傾向のため、

ウォーターサーバー事業は引き続き堅調に推移し、増益・増収の予想。

	2025年3月期（実績）	2026年3月期		
		予想	増減額	増減率
売上収益	76,895	80,000	3,104	104.0%
営業利益	11,482	12,000	517	104.5%
親会社の所有者に帰属する当期利益	5,631	6,500	868	115.4%
1株当たり当期利益（円）	189.40	218.94	29.54	115.6%

Copyright (c) Premium Water Holdings. All rights reserved.

PREMIUM WATER HOLDINGS

引き続き内部留保や設備投資等とのバランスを考慮しながら**安定的な増配**を続けていく方針。

1株当たりの配当金

（単位：円）

	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期（予想）
中間配当	11	35	45	**55**
期末配当	49	45	55	**55**
合計	60	80	100	**110**

Copyright (c) Premium Water Holdings. All rights reserved.

PREMIUM WATER HOLDINGS

獲得コストを意識しながら保有顧客数を純増させ続ける

新規獲得

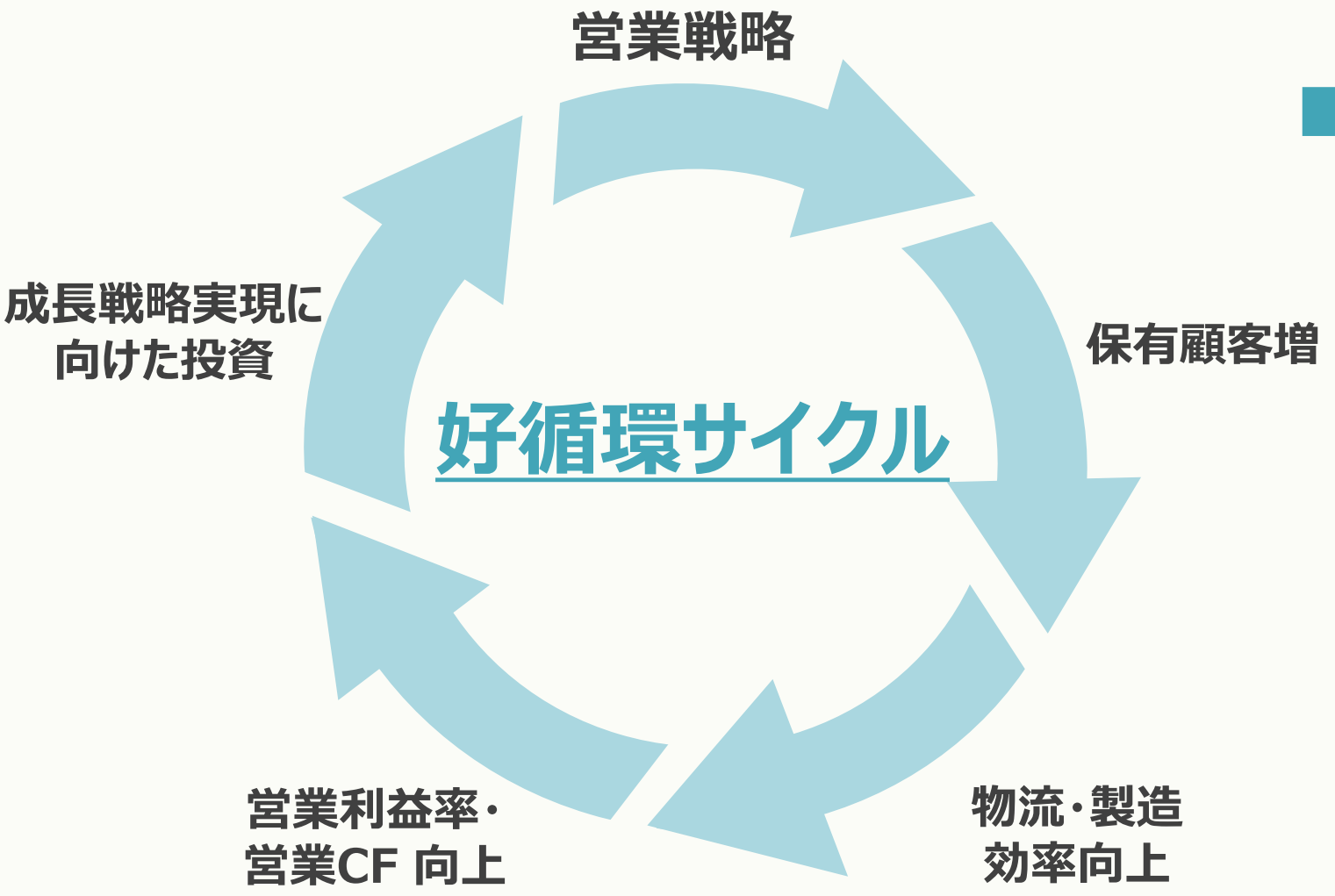
＋

既存顧客の顧客満足度追求

＝

保有顧客数の純増

Copyright (c) Premium Water Holdings. All rights reserved.



企業価値の拡大

株主還元

Copyright (c) Premium Water Holdings. All rights reserved.

PREMIUM WATER HOLDINGS

Appendix

（1）会社概要･事業内容

Copyright (c) Premium Water Holdings. All rights reserved.

会社概要

会社名	株式会社プレミアムウォーターホールディングス
設立	2006年10月13日
所在地	＜東京本社＞ 東京都渋谷区神宮前1-23-26　神宮前123ビル5階 ＜本店＞ 山梨県富士吉田市上吉田4597-1
代表者	代表取締役社長　金本 彰彦
従業員数	882名（役員、臨時従業員含まない）　※2025年3月31日現在
資本金	4,727百万円　※2025年３月31日現在
事業内容	自社ブランド「PREMIUM WATER」を中心とするミネラルウォーターの ウォーターサーバー事業を行う子会社等の経営管理及びそれに付帯又は関連する業務
主要なグループ会社	プレミアムウォーター株式会社 プレミアムウォータープロダクツ株式会社 株式会社LUXURY 株式会社PWリソース 株式会社ライフセレクト SINGAPORE FLC PTE.LTD

Copyright (c) Premium Water Holdings. All rights reserved.

PREMIUM WATER HOLDINGS

当社は「100年続く企業」となるべく、以下の経営理念を軸に事業を行っています。

VISION

自社の活動を通じて人々の生活を豊かに

そして**世界で一番愛される会社へ**

MISSION

日本の天然水と言う唯一無二の価値を日本人に

そして世界に伝える事で社会的意義を果たし、地方創生を実現する

Copyright (c) Premium Water Holdings. All rights reserved.

PREMIUM WATER HOLDINGS

各地の水源から採水したナチュラルミネラルウォーター（天然水）をワンウェイ方式で宅配するホーム・オフィス・デリバリーを主な事業として展開しています。

日本各地の採水地

全国８ヶ所（自社工場３ヶ所を含む）から
天然水を採水

宅配便で定期配送

２本１セットで配送
➡税込3,974円（1,987円/本）

ご家庭へお届け

ご希望の配送日を指定してお届け
ペットボトル容器は家庭から資源ごみとしてリサイクル

Copyright (c) Premium Water Holdings. All rights reserved.

PREMIUM WATER HOLDINGS

ウォーターサーバー需要の高まり

- 水道老朽化
- 地震等自然災害
- PFAS PFOS問題
- SDGs意識の高まり

社会的背景（外的要因）

水資源を未来へつなぎ、日本の天然水の価値を高める

PWHD（プレミアムウォーターホールディングス）は

- 宅配水業界シェアNo.1※1
- PWHD誕生以来ユーザー数連続更新
- 宅配水業界最多の8水源
- 安心・安全に注力した浄水型の展開

PREMIUM WATER HOLDINGS

圧倒的な営業力	工場の最新化	配送効率の最適化
安心・安全な天然水を安価で提供するための基盤作り	製造原価を抑えながらプラスチック量の少ないボトルでおいしい水を全国へ	配送効率の最適化を図るための自社物流※2網を維持することにより物流コストの抑制を実現

※1　2025年3月末時点の当社顧客数（173万件）÷日本宅配水＆サーバー協会（JDSA）の統計数字に基づく宅配水市場2025年3月末時点の予想顧客数（524万件）
※2　当社の配送管理システムに参加している配送パートナー

Copyright (c) Premium Water Holdings. All rights reserved.

PREMIUM WATER HOLDINGS

天然水という差別化が難しい商品で、No.1の市場シェア。競争優位を構築・維持する３つのポイント。

1 業界No.1の顧客獲得力

圧倒的な営業力がある直販のノウハウを代販へ伝えることで、**さらに強固な販売網**を構築。

2 業界No.1の８水源（うち自社工場３ヶ所）

月間 **約500万本**（約250万顧客相当）の生産能力を誇り、岐阜北方工場の竣工により、生産能力・生産効率が向上。

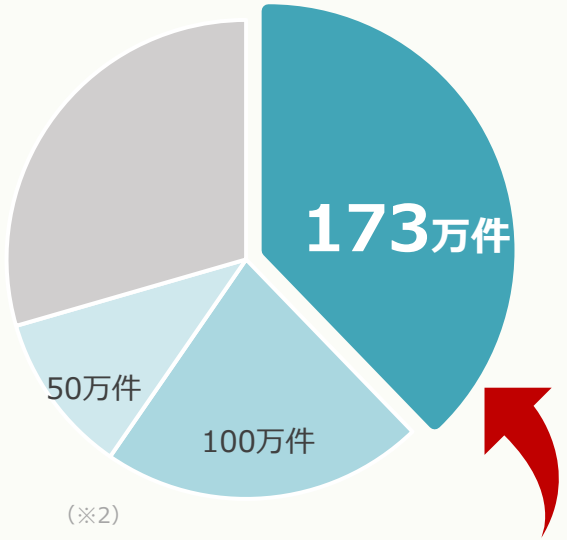
3 自社物流網の構築で効率的な配送

大手物流会社に左右されない自社物流網を構築したことにより、自社物流比率が**51.3%**まで上昇。**大幅なコスト削減**を実現。

ウォーターサーバー市場

顧客数 **No.1**

業界シェア **32.0%**（※1）



（※2）

- プレミアムウォーターホールディングス
- A社
- B社
- その他

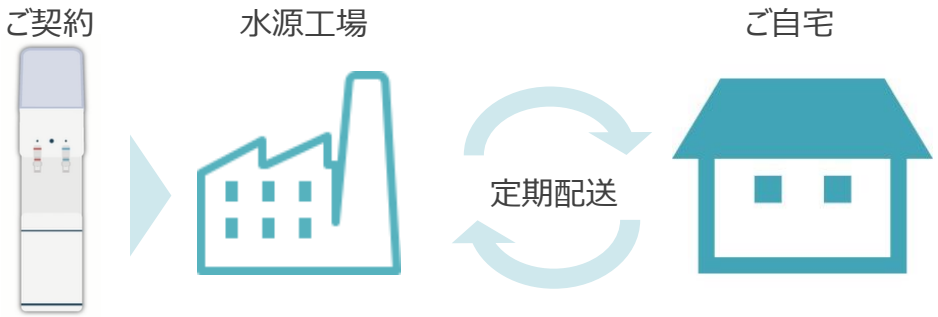
※1 JDSA2024年度宅配水業界統計より算出
※2 日本流通産業新聞2025年1月9日号より当社作成

Copyright (c) Premium Water Holdings. All rights reserved.

PREMIUM WATER HOLDINGS

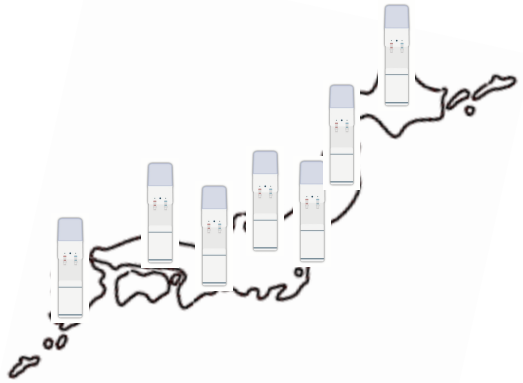
顧客の増加により確実に収益増加が見込める、安定性の高いビジネスモデル。

毎月の定期配送による安定した売上



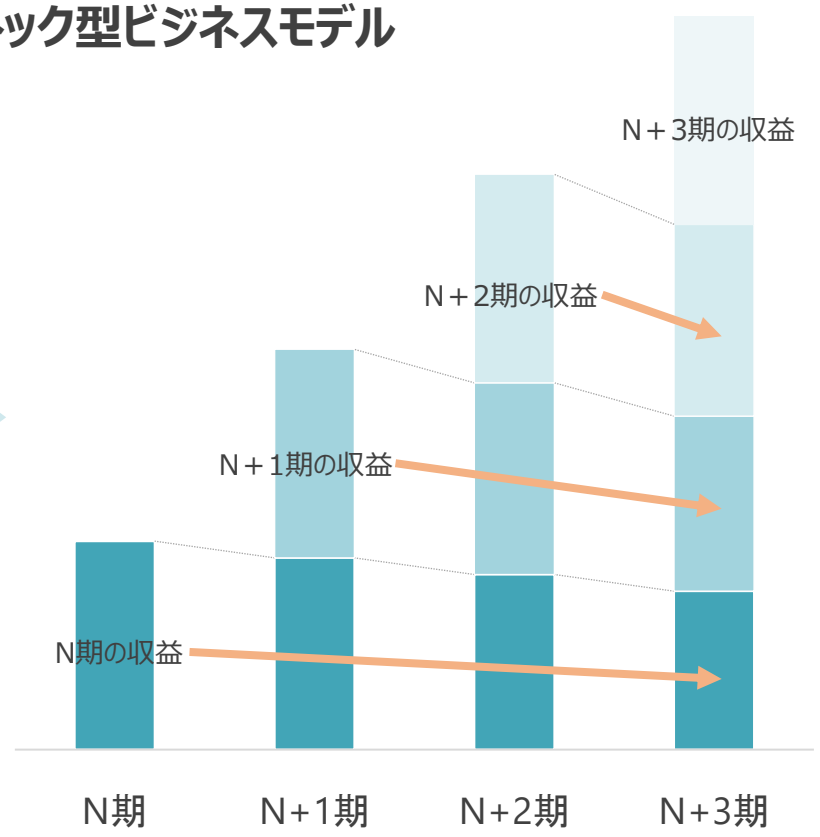
×

契約件数の増加



顧客１件あたりの獲得コストが
一定水準であれば

ストック型ビジネスモデル



Copyright (c) Premium Water Holdings. All rights reserved.

PREMIUM WATER HOLDINGS

Appendix

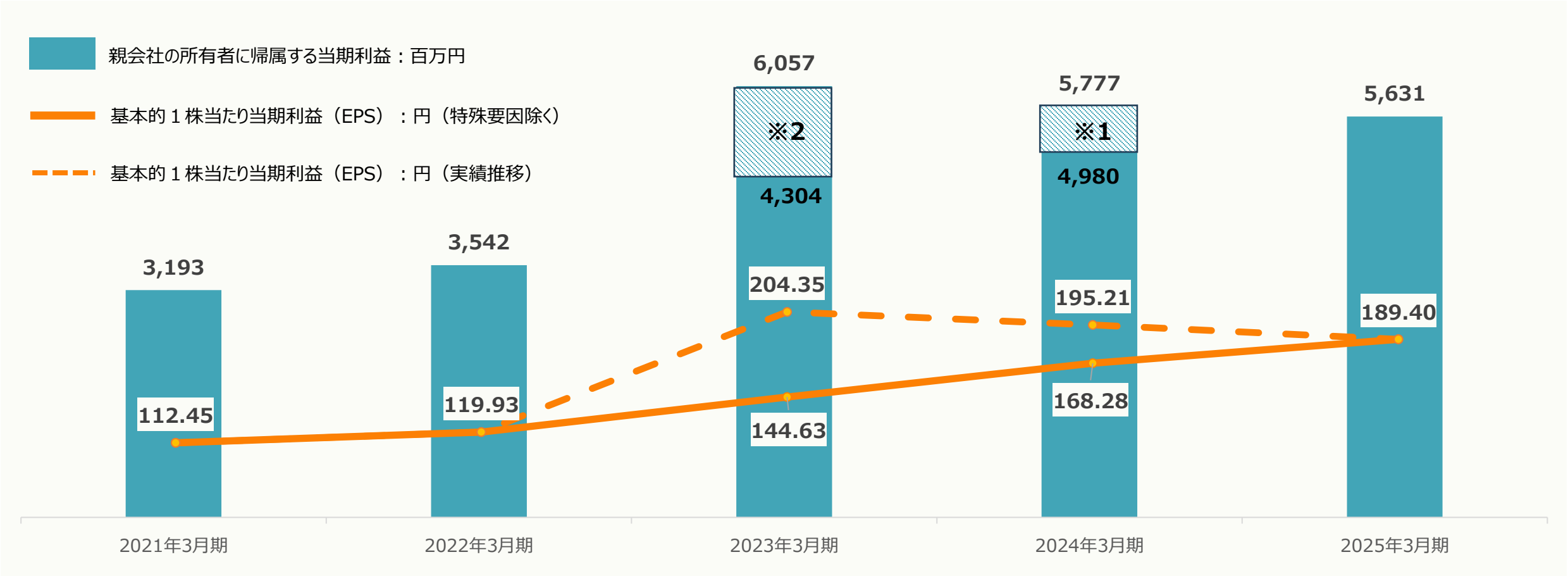
（２）2025年３月期詳細

Copyright (c) Premium Water Holdings. All rights reserved.

特殊要因の影響　－当期利益とEPSの推移－

PREMIUM WATER HOLDINGS

当期利益及びEPSについて、2023年３月期と2024年３月期に特殊要因による増益があったが、
本業のウォーターサーバー事業で順調に利益を伸ばし、2025年３月期における実質的な当期利益は増加している。



※1　今後の業績見通し等を踏まえ、慎重に回収可能性を検討した結果、2023年3月期のみの特殊要因として繰延税金資産1,753百万円を計上いたしました。
※2　2024年3月期においては、子会社であるエフエルシープレミアム株式会社を売却したことにより、子会社売却益797百万円を計上いたしました。

Copyright (c) Premium Water Holdings. All rights reserved.

PREMIUM WATER HOLDINGS

その他株式投資関係の指標は以下のとおり。

- **株主資本配当率（DOE）**

12.4%

※2025年３月末時点

- **ROIC**

7.7%

※2025年３月末時点

- **配当性向**

52.8%

※2025年３月末時点

- **ROA**

5.0%

※2025年３月末時点

Copyright (c) Premium Water Holdings. All rights reserved.

PREMIUM WATER HOLDINGS

営業力強化への投資に加え、効率的な製造・配送体制の構築に注力していく。

持株会社

PREMIUM WATER HOLDINGS

企画・管理
子会社

製造子会社

直販営業部

営業子会社

提携・出資等

提携・出資等

持分法適用関連会社

宅配水販売

LASTONEMILE 議決権※ 34.0%

INEST 議決権※ 37.8%

ビール販売

DREAMBEER SINCE 2020 議決権※ 15.7%

取次店

※2025年３月末時点

Copyright (c) Premium Water Holdings. All rights reserved.

PREMIUM WATER HOLDINGS

Appendix

（３）資本コストと株価を意識した取組み

Copyright (c) Premium Water Holdings. All rights reserved.

資本コストや株価を意識した取組み

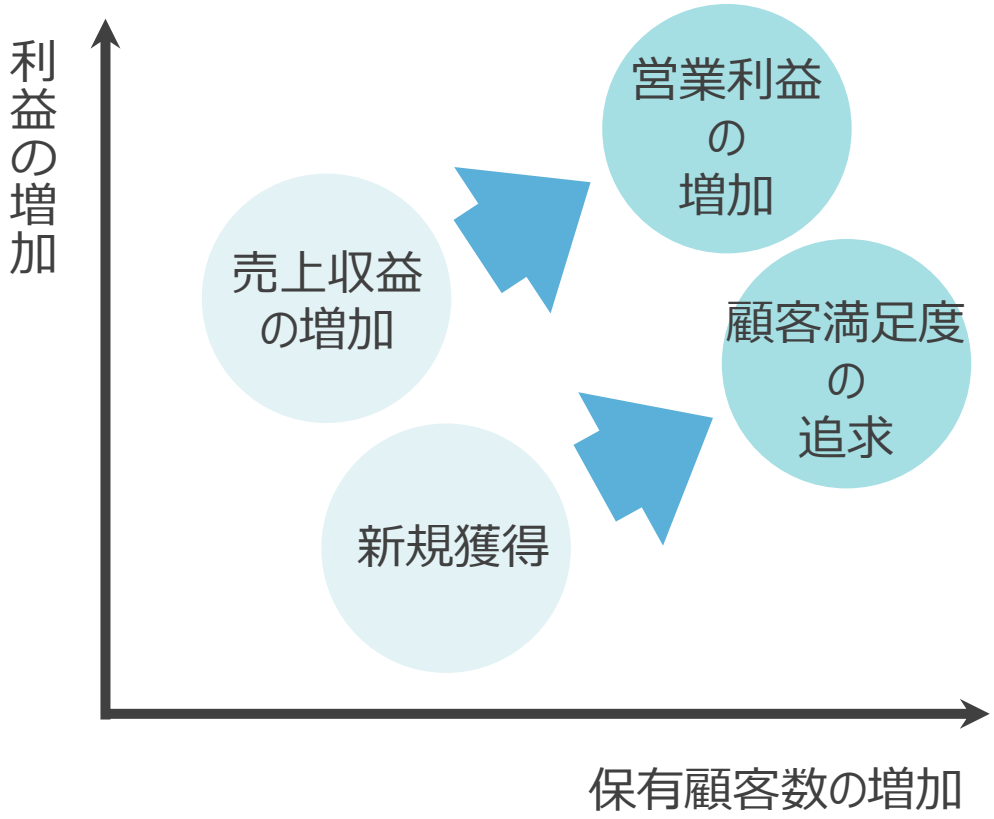
現状／課題点と今後

2025年３月期末の当社ROEは23.6%、
PBRは2025年3月末時点でプライム市場の平均PBR1.6倍を大きく上回った
3.39倍でした。投資を通じて更なるキャッシュフローの拡大に
成功してきたことが主な要因であると評価しております。
当社のビジネスモデル上、自己資本比率は2025年３月期末で22.4%と
国内企業の平均よりも低い結果となっておりますが、目標の30%に向けて
財務環境の改善による自己資本比率の向上を図る必要があると考えております。

2026年3月期は上場維持基準達成のため、親会社との協議等を行ってまいります。
合わせて、主力ウォーターサーバー事業における売上収益の増加および
営業利益率改善による利益の増加に取り組み、
ステークホルダーの皆様へ利益の還元を続ける体制を整えてまいります。

取組み方針

実務活動	☑ ウォーターサーバー事業の利益拡大 ☑ 株主還元の拡充 ☑ キャッシュフローの改善 ☑ コーポレートガバナンス体制の整備
IR活動	☑ 情報開示の充実 ☑ 投資家との対話拡大



利益率を高めるための経営戦略を実施

Copyright (c) Premium Water Holdings. All rights reserved.

プレミアムウォーターの成長ドライバー

新規顧客獲得に加え、既存顧客の継続率を向上させることにより
保有顧客数を積み上げる。また、保有顧客数の増加に伴い、
既存顧客に対する継続率向上のための施策が今後さらに重要となる。

ブース販売
(デモンストレーション販売)

テレマーケティング

新製品の開発

ユーザー専用
アプリ・ECサイト

新規獲得

＜新規獲得増加＞
・直販の強化
・提携販路との資本関係強化
・M＆Aの実施

継続率

＜継続率向上＞
・契約の長期化
・新製品の開発強化
・顧客満足度の向上

保有顧客数
増加

天然水出荷量
増加

売上増加

Copyright (c) Premium Water Holdings. All rights reserved.

PREMIUM WATER HOLDINGS

業界シェアNo.1の顧客基盤の拡大に注力する。

STEP❶ 顧客拡大 生産増強

STEP❷ グループストラクチャ再編 利益効率の向上

STEP❸ さらなる顧客基盤拡大

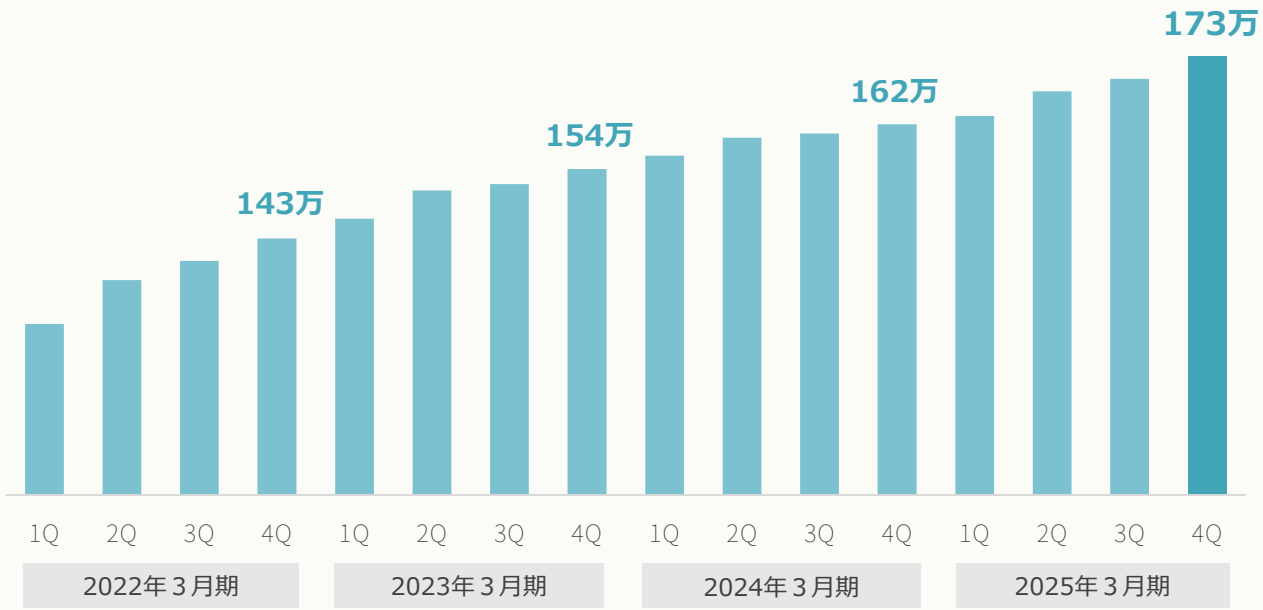
顧客獲得数　契約維持率

最大化

水関連事業

天然水	浄水型	その他

保有顧客数（件）



顧客基盤拡大３つの施策

❶ **直販の生産性の強化**

❷ メーカー特化型戦略による**顧客満足度の向上**

❸ **M&A・出資・業務提携**による営業力の向上

Copyright (c) Premium Water Holdings. All rights reserved.

PREMIUM WATER HOLDINGS

Appendix

（４）SDGsの取組み

Copyright (c) Premium Water Holdings. All rights reserved.

PREMIUM WATER HOLDINGS

PREMIUM WATER HOLDINGS

プレミアムウォーターホールディングスでは「水を守り、人を育むこと」を掲げ、
事業活動を通じたさまざまな社会課題に取り組み、私たちに関わる全ての人が豊かになることを目指します。

そして社会課題の解決と経済発展の両立を図ることによって、
持続可能な社会の実現に貢献していくことを宣言いたします。

Copyright (c) Premium Water Holdings. All rights reserved.

ＳＤＧｓの取組み

PREMIUM WATER HOLDINGS

01 環境

環境を
守り育むことで
自然を豊かに

- 地下水を守る
- カーボンニュートラル推進
- プラスチック適正処理
- 循環型社会の構築
- 森林保全
- 再生可能エネルギーの推進

02 地域・社会

地域と共生し
人々の暮らしを
豊かに

- 地方創生
- 自然災害復興支援
- 日本の貧困問題サポート
- 子どもへの教育
- 福祉施設の支援

03 ガバナンス

公正で透明かつ
潤いのある
組織を

- ガバナンスの徹底
- コンプライアンスの徹底

04 社員

多様性を尊重し
働き甲斐のある
環境で社員の
人生を豊かに

- ダイバーシティ推進
- 働き甲斐の促進
- 健康経営

Copyright (c) Premium Water Holdings. All rights reserved.

PREMIUM WATER HOLDINGS

安心・安全なお水を提供するために

定期的な調査報告

有機フッ素化合物（PFOS・PFOA）検査結果

有機フッ素化合物PFAS（ピーファス）のうち、有害性が指摘される規制対象物質「PFOS（ピーフォス）」と「PFOA（ピーフォア）」は検出されておりません。
（2024年10月現在）

検査月	富士吉田	富士	北アルプス	岐阜北方	吉野	朝来	金城	南阿蘇
2024年下期	検出なし（10月実施）	検出なし（10月実施）	検出なし（10月実施）	検出なし（10月実施）	検出なし（10月実施）	検出なし（10月実施）	検出なし（10月実施）	検出なし（10月実施）
2024年上期	検出なし（5月実施）	検出なし（5月実施）	検出なし（5月実施）	検出なし（5月実施）	検出なし（5月実施）	検出なし（5月実施）	検出なし（5月実施）	検出なし（5月実施）
2023年下期	検出なし（10月実施）	検出なし（10月実施）	検出なし（10月実施）	検出なし（10月実施）	検出なし（10月実施）	検出なし（10月実施）	検出なし（10月実施）	検出なし（10月実施）
2023年上期	検出なし（3月実施）	検出なし（3月実施）	–	検出なし（3月実施）	検出なし（4月実施）	検出なし（3月実施）	検出なし（4月実施）	検出なし（5月実施）
2022年下期	–	–	検出なし（11月実施）	–	–	–	–	–

放射性物質検査結果

2025年 −

2025年3月分

- 放射線量 自主検査結果（富士吉田）
- 放射線量 自主検査結果（富士）
- 放射線量 自主検査結果（北アルプス）
- 放射線量 自主検査結果（岐阜北方）
- 放射線量 自主検査結果（朝来）
- 放射線量 自主検査結果（吉野）
- 放射線量 自主検査結果（金城）
- 放射線量 自主検査結果（南阿蘇）

3．測定結果	核 種 名	測定結果（Bq/kg）
	放射性ヨウ素131　（I-131）	検出されず
	放射性セシウム134（Cs-134）	検出されず
	放射性セシウム137（Cs-137）	検出されず
	放射性セシウム136（Cs-136）	検出されず

地下水脈からくみ上げた原水は、4段階以上のフィルターで丁寧に除菌、クリーンルームで新品のペットボトルにボトリングされます。製造工程では、独自に設けた厳しい品質管理規定により、毎日定期的な水質検査や放射性物質検査がおこなわれており、定期的に検査結果を公開しています。

Copyright (c) Premium Water Holdings. All rights reserved.

PREMIUM WATER HOLDINGS

災害時の支援・復興サポート

工場地域と災害に備えた協定

山梨県富士吉田市、兵庫県朝来市と
「災害時における飲料水の供給に関する協定」を
締結しており、災害発生時に被災者に
飲料水の提供が必要となった場合、
無償供給およびサーバーの無償貸与を行います。

災害支援・復興サポート

西日本豪雨による被災地支援品の寄贈、
熊本地震における義援金寄付、
熊本復興支援イベントの開催等を行い、
「令和６年 能登半島地震」においても、
被災地支援を行っています。

Copyright (c) Premium Water Holdings. All rights reserved.

PREMIUM WATER HOLDINGS

地方創生への寄与

全国に拠点を設け、地方に水源を開拓し、雇用を創出いたします。

各工場においては、現地で採用活動を積極的に行い、工場がある地域の人々とその地域全体の活性化につなげています。

Copyright (c) Premium Water Holdings. All rights reserved.

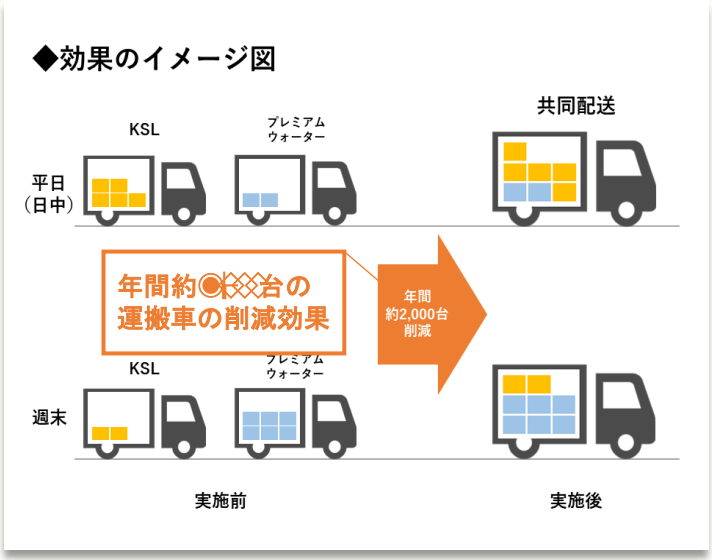
PREMIUM WATER HOLDINGS

環境に配慮した新しい物流

KOKUYO コクヨサプライロジスティクス株式会社

PREMIUM WATER

HighQuality Water Delivery Service



物流コスト高騰の中、提携先企業と当社とで共同配送を実施し、物流の効率化とコスト削減を目指す。「2024年問題」をはじめとした社会課題の解決への貢献を目指し、環境負荷の低減化を図る。

【主な取り組み】 2023年12月、江崎グリコ（株）ら３社と、グリーン物流パートナーシップ優良事業者 特別賞を受賞。
2024年８月、コクヨサプライロジスティクス（株）との共同配送を開始。

Copyright (c) Premium Water Holdings. All rights reserved.

PREMIUM WATER HOLDINGS

ウォーターステーションの実施

ROCK ANTHEM 2025 ロックアンセム - BY ROCK LOVERS , FOR ROCK LOVERS -

POINT presents ツタロックフェス2025 supported by ZOZOTOWN 2025.3.22 SAT. 23 SUN. AT MAKUHARI MESSE 9-11

EIGHT BALL FESTIVAL 八祭 2025

GMO SONIC 2024

HIRAIDAI PRESENTS THE BEACH TRIP 2024

イベントやLIVE等にご来場いただいた皆様に無料でお水を提供する給水スポットである「ウォーターステーション」。
特に夏場のイベントでは水分補給が重要であり、マイボトルを持参するだけで水分補給が可能なウォーターステーションは、熱中症予防の1つにもなります。また、来場者の方にマイボトルを持参していただくことで、環境に配慮したSDGsの取組みの一環にもなります。

Copyright (c) Premium Water Holdings. All rights reserved.

PREMIUM WATER HOLDINGS

こども食堂へのお米寄付

貧困や孤食という問題を抱える子どもたちの食が少しでも豊かになることを目的に、貧困家庭や孤食の子どもに食事を提供する「子ども食堂」に自社富士吉田で収穫したお米を寄贈しました。

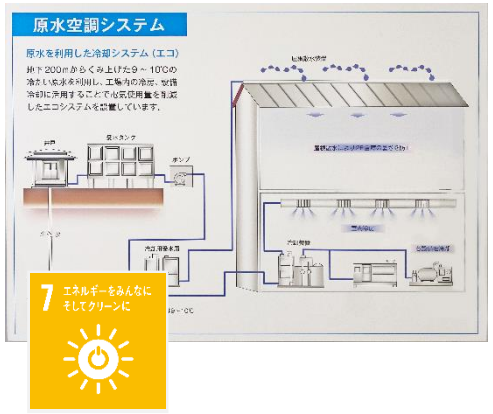
小学校での出張授業

小学校から行われるキャリア教育の一環として出張授業を実施しています。天然水を取り扱う企業だからこそ伝えられる「お水や自然の大切さ」と「日本の天然水という価値ある資源を未来に残していくために、自分たちにできることは何か」を子どもたちに自由な発想で考えていただきます。

ウォーターエイドジャパンへの継続的な寄付

“SDGs特化型”の新たなウォーターサーバーブランド「PREMIUM WATER FUTURE」を立ちあげました。「PREMIUM WATER FUTURE」の売上の一部を愛すべき未来への想いを具現化する活動団体“ウォーターエイドジャパン”へ寄付することで、多くの人々が衛生的なお水を利用できるように支援しています。

地下水の利用



富士吉田工場では、地下水200mからくみ上げた９度～10度の冷たい原水を利用し、工場内の冷房・設備冷却に活用することで電気使用料を削減したエコシステムを設置しています。

Copyright (c) Premium Water Holdings. All rights reserved.

PREMIUM WATER HOLDINGS

安心安全のナチュラルミネラルウォーター

同社グループの製品（ナチュラルミネラルウォーター）は、一般の公的基準よりも厳しい自社基準を設け、1日に10数回に及ぶ自主的な検査（水の微生物検査、理化学検査、官能検査）と定期的な放射線物質の検査を実施しています。また、赤ちゃんのからだにもやさしい「軟水」を提供しています。

PETボトルの軽量化

PETボトルの構造を変更し、従来より約23%軽量化（プラスチック使用量削減）したボトルを開発いたしました。これにより年間278t※1のプラスチック使用量を削減することができます。

※全てのボトルが100%切り替えされた場合

公平な人事制度・ジェンダー平等への取組み

人事考課での公平性を確保するために、人事ポリシー・考課制度を再整備しています。
また、産前産後休業や育児休業・育児休業給付、育休中の社会保険料免除のほか、制度の周知や情報提供を行っています。

森林整備活動（西桂地区）

地域の水資源育成に向け、水源涵養機能の高い森が、良い水資源を生み、豊かな食生活を生むという考えから、西桂工場のある山梨県の西桂地区において健全な森を作る間伐等の整備を行っています。

Copyright (c) Premium Water Holdings. All rights reserved.

免責事項

1. 掲載された情報についてご注意いただきたい点

当資料を通じ、財務情報、経営指標等の情報の開示を行います。当社は、当資料を通じて情報開示を行うにあたり細心の注意を払っておりますが、当資料に掲載した情報について内容の正確性等を保証いたしません。当資料による情報開示は、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終的な決定は、ご自身の判断でお願い致します。当社は、当資料に掲載された情報を利用したことにより生じたいかなる損害についても、一切責任を負いません。

2. 将来の見通しに関する事項について

当資料に掲載されている情報には、業績予測等の将来の見通しに関する記述が含まれていますが、これらはリスクや不確実性を内包するものです。業績予測等の将来の見通しに関する記述は、その実現性を保証するものではなく、当社を取り巻く経営環境や市場動向の変化等により、実現しない可能性があることにご注意ください。

3. 当資料の運用について

当資料は予告なく配布の中止や内容の変更を行うことがあります。当社は、当資料を利用できなかったことにより生じたいかなる損害についても、一切責任を負いません。

＜お問い合わせ先＞
株式会社プレミアムウォーターホールディングス　IR担当
メールアドレス：ir@premiumwater-hd.co.jp

Copyright (c) Premium Water Holdings. All rights reserved.

Premium Water
Holdings